

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	0	・利用定員が多い日があります。 ・指定基準以上のスペースは確保できています。 ・適切であるが、クールダウンや体調不良等で静養するときの環境（場所）を整えていく必要があると思います。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	0	・適切な配置をしています。 ・行事などの際には普段よりも多めに職員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	0	・玄関以外、ワンフロアがバリアフリーです。 ・居抜き物件のため、多少の段差等があります。使いやすい構造であると思います。 ・児童の転倒防止等の配慮ができています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	3	0	・ミーティングにより、確認しているが全職員の参加が難しいです。 ・全くなされていないわけではないが、全員集まっての会議の場が少なく、最近は話し合えていない事柄も多いので、不安が残っています。 ・全員そろっての職員会は週初めに実施、情報交換を主とする会は毎日実施していく予定です。PDCAサイクルが円滑に機能することが今後の課題です。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	・実施しています。 ・送迎時や電話連絡の際にご意向を伺っています。 ・月毎のイベントや療育等に反映させていただいています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	・公開しています。 ・前は（第1回目）はホームページ掲載と事業所の入口の提示だったので、今後は保護者に分かりやすいように、文書でダイジェスト版を手渡ししてはどうかと思います。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	4	・現在、第三者による外部評価は行われていません。 ・今後の検討課題です。
適	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	0	・確保されてはいますが、コロナ禍のためにまだ十分だとは言えない。 ・コロナ収束後は積極的、主体的に研修に参加していき、所内でも計画的に実施していきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	・標準化されたアセスメントシートを使い、詳細については聞き取りを行いながら個別支援計画等の作成を実施しています。またアセスメント以外にも毎回連絡帳のやり取りで気になった点の報告が来ています。 ・ニーズや課題も流動性を伴う場合もあるので、タイムリーな情報共有を行い、柔軟に対応できるような対策を講じていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	0	6	・今後、所内でできるところから系統的に実施していきたい。 ・各ツールの理解と活用の仕方を学んでいきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	0	・それぞれに意見を出し合い、協力していると思う。 ・毎月チームで活動プログラムを話し合いで決めている。
適	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	0	・子どもたちの意思も聞きながら工夫されていると思う。 ・子どもたちの構成や季節感を職員が把握して、活動プログラムを組んでいきたい。

切 な 支 援 の 提 供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	・季節やその利用日の状況に応じて、設定されていると思うが、より見通しを立てられるよう改善・工夫していきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	・作成されていると思う。 ・PDCAサイクルが効果的に展開できる工夫が今後、必要である。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	5	0	・打ち合わせが充分ではなく、主観に周知していないことも少なくない。今後の最重要課題である。 ・活動前のミーティングはあまり行われていない。 ・話し合いのための日程（定例会）を確保する。企画は書面でコンセンサスがとれるようにしたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4	0	・打ち合わせができていないことが多く、長期休暇時は取組が滞りやすい。いくために会議の時間を充実させてほしい。 ・問題点があった時の振り返りは行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	・ほぼできていると思う。 ・トイレ、水分等の記録をもっと充実させたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	・定期的に判断されていると思う。 ・常に短期、長期の目標内容を明確にして見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	0	0	・行っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	0	・参画しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	0	・学校によってできているところとできていないところがある。 ・学校での子どもたちの状況（生活、学習等）の共有も一定、必要性を感じている。 ・綿密にできている方だと思うが、トラブル発生時の対応が不十分な時があり、今後の課題である。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	6	・現在、受け入れがありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	0	・他事業所等との情報共有（支援や引継ぎ会等）ができています。 ・新規利用の際には保育園や学校見学に行くなど、情報収集・情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	0	6	・現在、対象児がいません。 ・今後、移行がある場合、情報提供していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	2	・病院受診（ST）を見学させてもらい、現場に反映している。多くの職員がそういった機会を持ってもらえると有難い。 ・課題意識を持って積極的に連携、研修等を実施していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	・左記の施設との交流はないが、外部から障がいのない子どもさんが来所したり、公園等で接する機会もある。 ・地域のイベントや他の事業所等の活動にも参加する機会を設けていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	0	6	・現在のところ、まだ未参加です。 ・検討課題です。

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っているか	6	0	0	・電話連絡や送迎時等に、子どもたちの様子を伝えられていると 思います。 ・送迎時や連絡帳などで、情報共有出来ています。 ・共通理解を持つための職員間のコミュニケーションを大切にし たいです。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っているか	0	4	2	・ペアレント・トレーニングはしていません。 ・ペアレント・トレーニングについての基本研修と、それに基づ いた日々の実践を重ね、保護者と向き合っていきたいと思いま す。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っているか	6	0	0	・的確に行われている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている か	6	0	0	・電話や連絡帳などで行っています。 ・送迎時や電話連絡等があった際には支援が行われている。 ・保護者から気軽に相談しやすい関係をつくっておくように努め る。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 しているか	0	0	6	・コロナ禍が落ち着いてから、横の繋がりをつくっていきたい。 ・今後の検討課題で、行事等を通して、そこから保護者間、横の つながりに発展させられればと考えています。 ・保護者のニーズに合った組織づくりをしていきたいと思いま す。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか	1	4	1	・その都度、対応しているが充分に行き届いていない場合もあ り、保護者に不安な思いをさせてしまった。早急な体制の見直し が必要。 ・対応体制が機能するように職員間で周知徹底を行う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 して発信しているか	5	1	0	・通信を毎月一回、発行することや連絡帳等によりその都度、状況 をお伝えしている。 ・通信の内容をしっかりと吟味していきたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	1	0	・取り扱いには厳重に注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	0	・していると思うが、今後より充実・向上させていきたい。 ・個々の特性にあわせた対応を心掛けています。 ・利用児が伝えたいことをくみ取れない時もあるため、工夫して 改善をしていきたいです。そのためにもスキルアップのための研 修に積極的に参加していきたい。
非 常 時 等	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っているか	1	2	3	・コロナ禍が収束後、招待する機会も増えてくると思う。 ・以前のように、積極的に行っていきたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者 に周知しているか	5	1	0	・職員・保護者ともに周知している。 ・職員は周知できていますが、常日頃から忘れないように「確認 や見直し」をする事を習慣化していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っているか	5	1	0	・年に2回実施している。 ・今後より頻繁に実施していきたい。また、回数だけでなく避 難・救出の内容を再検討していきたい。 ・系統的、計画的な訓練が必要である。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしているか	2	3	1	・マニュアルの作成、事業所内の研修等、虐待防止に努めてい る。 ・最重要課題として位置づけて、今後、所内及び他の研修会に参 加する予定です。 ・職員会の議題にも必ず入れて職員間で議論していきたい。

の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2	0	・ 契約時に保護者様に丁寧に説明しています。 ・ 今のところ身体拘束を行うことはないが、「身体拘束」について、職員間で研修を深め、認識を新たにする機会が欲しい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	1	・ アレルギーを持っているご利用者はいるが、指示書はない。 ・ アセスメントの際、保護者様に詳しく聞き取りをしています。 ・ 職員が目につくところに医師の指示書等の文書を掲示しておく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	0	・ 作成しているが、最近、作成できていない件もあり、共有できていないと感じている。 ・ 積極的に事例を作成して、職員会で善後策を練り合い、ヒヤリハットが起こらないような取り組みをしていく。